



研究用試薬

マクロファージ接着防止コーティング剤

【 Macrophage Anti-adhesive Coating Solution, 品番 : MAA-50 】

2024年7月1日改訂

本製品は研究目的にのみご使用になれます。

I. 製品概要

マクロファージは一般的にプラスチック製の培養器材（遠沈管、ピペット等）の表面に接着しやすい細胞です。本製品は、あらゆる培養器材の表面をコーティングすることができ、マクロファージが器材に接着することを防ぐことができるため、細胞数が減ることがなく、実験に必要な細胞を確保することができます。

II. 使用前注意事項

本マニュアルを使用前に必ずご確認ください。
本製品の操作は【無菌操作】で実施して下さい。

III. 製品構成

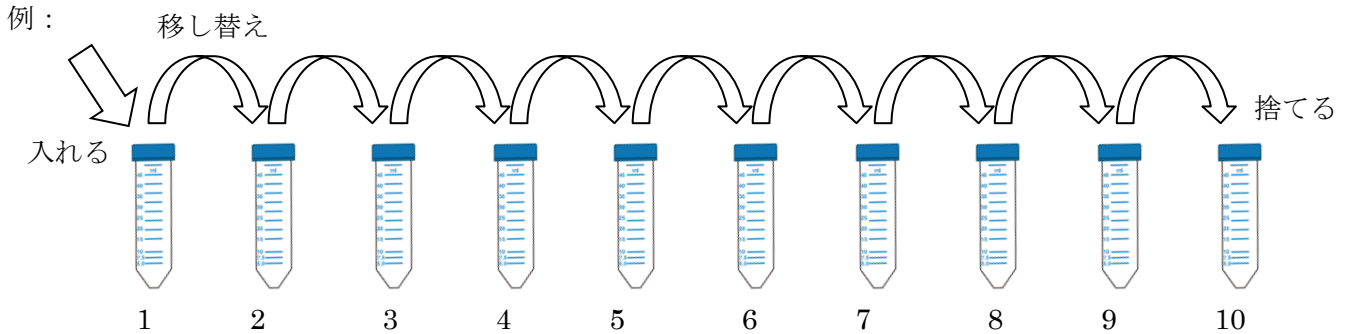
品名	容量	本数	保存方法	使用期限
マクロファージ接着防止コーティング剤 Macrophage Anti-adhesive Coating Solution	50mL	1本	室温・遮光	ボトルに記載

IV. 操作方法

※本操作は【無菌操作】で行って下さい。
※希釈せずそのままお使いいただけます。

プラスチック器材のコーティング

1. 70%エタノール等でコーティング剤の容器の周りを消毒し、コーティング剤をクリーンベンチに入れて下さい。
2. 細胞の回収操作に使用する滅菌済みのプラスチック器材（遠沈管・ピペット・リザーバー等）をクリーンベンチ内に入れて下さい。
3. 遠沈管等の容器の場合：コーティング剤を適量（15mL の遠沈管の場合：1.5mL、50mL の遠沈管の場合：5mL）、遠沈管内に入れ、（蓋があるものは蓋をして）容器を転倒もしくは回転させてコーティング剤を万遍なく表面に行き渡らせます。
ピペットの場合：コーティング剤を容器から直接もしくは遠沈管等に分取して、最大目盛まで吸い、数回ピペッティングして、万遍なく表面に行き渡らせます。
4. コーティング剤は **10回**まで繰り返し使用が可能です。複数の容器をコーティングする場合はコーティング剤を順次移し替えながら作業して下さい。



5. コーティング剤を行き渡らせた後は、コーティング剤を除き、器材をクリーンベンチ内で 2~3 時間放置し、乾燥させます（蓋があるものは蓋を外して乾燥させて下さい）。
6. 乾燥後は通常のプラスチック器材として、マクロファージの回収操作等にご使用下さい。コーティング後の容器は、3 週間以内にお使いください。出来る限りご使用前に都度、コーティングされることをお勧めいたします。